

平成29年度
私立学校 中堅教員研修会
〔東日本会場〕
実施案内

主催 一般財団法人日本私学教育研究所
後援 日本私立中学高等学校連合会
後援 日本私立小学校連合会

2020年を目指して進んできた教育制度改革も、いよいよ大詰めを迎えました。

今年3月には小・中学校の次期学習指導要領が告示され、今後は2020年の小学校に始まり、中・高等学校の順に新しい学習指導要領が実施される予定です。また「高等学校基礎学力テスト(仮称)」は2019年から試行実施が始まり、2020年からは「大学入学希望者学力評価テスト(仮称)」が実施されようとしています。ここ数年来続いてきた教育制度改革が、ついに具体的な形となって学校現場に姿を現すときがやってきました。

こうした動きに対してこれまで学校現場では、それを自校の教育にどのように取り込んでいくか、どのように反映させていくかなど、様々な観点から論議が重ねられてきたことと想われます。しかしその一方で、新しい学習指導要領や新しい大学入試制度の適用を受ける児童・生徒はすでに入学していることですから、もはや悠長に論議のみを重ねていることは許されません。新しい時代を迎えて私学各校がどのような教育を目指しているのか、これまで以上に内外にしっかりとした姿勢を打ち出さなくてはならないときを迎えているといえます。

このような要求に対して、教科・学年・分掌などで中心的役割を果たす中堅教員の先生方は、若い先生方を指導しながら教員集団全体をまとめ、また自校の建学の精神を継承しつつ先進的な教育にも挑んでいく、という大変な立場にあるといえます。

今回の研修では(1)「私立学校の現状と課題」で、こうした教育界の動向に対する正しい理解を確認し、これからの私学の在るべき姿を探ります。(2)「中堅教員の使命」では、学校改革を進める中で、中堅教員の立ち位置や役割とは何かについて考えます。(3)「教育改革と新しい教育観」では、多くの方が関心を寄せている高大接続改革や教育の質的転換の方向性と今後の展開を考察します。(4)「カリキュラムマネジメントを学ぶ(仮題)」では、次期学習指導要領のもとで“主体的・対話的で深い学び”を支えるためにカリキュラムマネジメントをどのように確立していったらよいのか、改めてその意義を確認するとともに、学校での取り組み方について実践的に考察します。

2日間の短い研修ではありますが、参加者が最新の知見を学んで刺激を受け、また新しい仲間と出会うことを、明日からの教育活動の糧としていただけるような研修会を目指しています。どうぞ奮ってご参加ください。

会 期 平成29年7月26日(水)～7月27日(木)

会 場 主婦会館プラザエフ

〒102-0085 東京都千代田区六番町 15

参加対象者 全国の私立小学校・中学校・高等学校・中等教育学校に在職する中堅本務教員
で学校長が推薦する者

募集定員 100名

【 日 程 】

実施時間		内 容	
7 月 26 日 (水)	10:15~10:50	受付	(研修会場入口)にて
	10:50~11:20	開会式	
	11:20~12:40	研修 1	講義 「私立学校の現状と課題」 講師 中川 武夫 (一般財団法人日本私学教育研究所所長)
	12:50~13:50	昼食 休憩	(研修 1 を踏まえて グループごとに情報交換会・懇親会を兼ねる)
	14:00~15:30	研修 2	講義 「中堅教員の使命」 講師 田原 俊典 (修道中学・高等学校校長)
15:40~17:00	研修 3	グループ討議(研修 2 を踏まえて)	
7 月 27 日 (木)	9:00~10:30	研修 4	講義 「教育改革と新しい教育観 ～高大接続改革などがめざす、教育の質的転換の方向性とそ の課題を探る～」 講師 長塚 篤夫 (順天中学高等学校校長・文部科学省高大接続改革会議委員)
	10:40~12:00	研修 5	グループ討議(研修 4 を踏まえて)
	12:10~13:10	昼食 休憩	(グループごとに情報交換会・懇親会を兼ねる)
	13:20~14:50	研修 6	講義 「カリキュラムマネジメントを学ぶ(仮題)」 講師 村川 雅弘 (甲南女子大学大学院教授)
	15:00~16:30	研修 7	ワークショップとグループ討議(研修 6 を踏まえて)
	16:30~17:00	閉会式	

※ 運営の都合上、日程の一部が変更になる場合もありますので、予めご承知おきください。

※ 西日本会場(8月2日~3日 大阪府大阪市)でも、同じ内容で開催します。ご都合のよい方で参加いただけます



- JR 四ッ谷駅 麹町口前
(徒歩 1分)
- 東京メトロ南北線/丸ノ内線
四ッ谷駅 (徒歩 3分)
- 東京駅からのアクセス
JR 中央線快速で四ッ谷駅
(約 10分)
- 羽田空港からのアクセス
東京モノレール快速で浜松町→JR
山手線(内回り) 神田→JR 中央線
快速で四ッ谷駅 (約 40分)

参加申込方法

- ① 参加申込書に必要事項を記入し、日本私学教育研究所へ郵送または FAX でお送りください。
申込締切 平成 29 年 6 月 30 日 (金)
※締切日前でも定員になり次第、締め切らせていただきます。

送付先・問い合わせ先

一般財団法人日本私学教育研究所 中堅教員研修係

〒102-0073 東京都千代田区九段北 4-3-8 市ヶ谷 UN ビル 6 階

TEL 03-3222-1621 FAX 03-3222-1683

E-mail kenkyu-kenshu@shigaku.or.jp

- ・参加申込書は、お一人一枚ご記入ください。複数名参加の場合はコピーしてください。
- ・参加申込書及び実施案内は、当研究所ホームページよりダウンロードすることもできます。

当研究所ホームページアドレス <http://www.shigaku.or.jp>

- ②参加申込書が届きましたら、参加確認証および指定払込書を学校長あてにお送りいたしますので、参加費を日本私学教育研究所あてに送金してください。

参加費: 16,000 円(両日の昼食費を含む)

- ・指定払込書の「振替払込金受領書」をもって領収書にかえさせていただきます。別途、領収書が必要な場合には、上記「中堅教員研修会係」までご連絡ください。
- ・研修会に不参加の場合、いったん納入された参加費用は全額返金できないことがあります。また返金の精算は研修会終了後となりますので、ご了承ください。

参加に際してのご注意

1. 参加確認証…参加確認証は、参加者本人が持参し、研修会当日に受付にご提示ください。前々日までにお手元に届いていない場合は、上記「中堅教員研修会係」に電話でご連絡ください。
2. 持参品…筆記用具、健康保険証。
3. 受講中の服装…ご指導いただく先生方に失礼のない服装で受講してください。
4. 来場方法…駐車場は用意していませんので、公共交通機関をご利用ください。
5. 本研修会の研修期間中、参加者等の傷害保険には主催者として加入しておりませんのでご承知おきください。

個人情報の取り扱い

当研究所では、研修会に参加される方の個人情報は厳重に管理・保護し、その取扱いについては、法令その他の規範を尊重し、細心の注意を払っております。参加申込書にご記入いただいた個人情報は、「参加確認証」及び研修会参加のために必要な書類の送付、実施要項の名簿作成、当研究所の各種研修会開催等のご案内の送付、また何らかの理由で研修会に参加される方に連絡を要する事態が生じた場合のみに利用いたします。

送付先 日本私学教育研究所 FAX番号 03-3222-1683 ※送信状は不要です
 【申込締切日：6月30日（金）】

平成 29 年度 中堅教員研修会 東日本会場 参加申込書 [121-]

- ・太線枠内に必要事項を記入、または該当する事項に○印をしてください。
- ・※の項目は、実施要項の参加者名簿に記載します。他は研究所が統計上の記録・調査に使用します。
- ・申込は一人につき一枚の申込書を使用してください。同一校から複数名でお申し込みの場合は、用紙をコピーしてご利用ください。

※都道府県名		※学校名	
学校所在地 〒			
		TEL	FAX
ふりがな ※参加者氏名		男・女 年齢()	緊急連絡先 (自宅・携帯電話番号等連絡が取れるところ)
職名 ○で囲んでください 教諭・講師(常勤・非常勤) その他()		※教科	担当科目 校務分掌(委員会)
教職経験の有無(職名を問わず) 現勤務校に()年・一年未満 それ以前に、私立学校 年・公立 年		教職以外の就業経験 有()年間・無	
現在のクラス担任 有(小・中・高 年生)・無		現在担当のクラブ活動 有()・無	
メールアドレス ：当研究所からの研修会案内等のメール配信希望の方は、メールアドレスをご記入ください。(携帯電話のメールは不可)			
一般財団法人 日本私学教育研究所 御中		平成 29 年 月 日	
上記の通り申し込みます。			
		学校長氏名 ㊟	
【通信欄】			

- 参加費の送金について
- ・この申込書をお送りいただいた後、「参加確認証」と「指定払込票」を送付いたしますので、期限までに「指定払込票」を使って参加費の送金をお願いいたします。
- ・「指定払込票」の「払込金受領証」をもって領収書にかえさせていただきます。